



好きやねん湖東

湖東地区

まちづくり情報誌

第63号

夏の思い出 - 地蔵盆 -



コトナリエ 2010 を終えて・・・ その後～2011 へ向けて～

東近江市の夏の風物詩となった～光と環境の祭典～「コトナリエサマーフェスタ」が、コトナリエ実行委員会の主催で、8月7日から15日まで開催され、初日は約3万人が来場、期間中では延べ10万人の人出で賑わいました。

今年のデザインコンセプトは「『earth』～地球～」で、「大地」や「海」といった自然の力をイメージした約25万球のイルミネーションが優しい光で訪れた人たちを包み、家族連れや若いカップルからは歓声の音が飛び交い、幻想的な光の世界を楽しんでおられました。

来場者にアンケート調査した結果、『毎年この時期は「コトナリエ」を楽しみにしています・・・』と、コトナリエファン（リピーター）も広がりを見せ、遠くは海外（ニュージーランド）からもコトナリエ開催期間中に家族で帰省するなど、「コトナリエ」の魅力は今や世界レベルに達してきたようです。

また、『毎年来ています。』『毎年パワーアップしている。』『家族みんなで楽しめる。』『感動しました。』『きれいびっくり！このまま継続願います。』『実行委員会・まち協・地元ボランティアさんの団結力が強いですね。』と、お褒めの言葉続出でした。関係者一同、準備期間の苦労も報われます。

既にイルミネーションの撤去作業も無事終わることができ、コトナリエの暑い夏も幕を閉じましたが、廃食油回収から2ヶ月以上にわたってイルミネーションの飾り付けから撤去作業に至るまでお手伝いいただきました地域の皆さん！本当にありがとうございました。心から感謝します。

今年の「コトナリエ」も幕を閉じましたが、開催にあたって課題も多々ありましたので、これらをしっかりと改善し、次年度へ向け地元の皆さんから愛される「コトナリエ」として開催できるようにしていきます。

（期間中の運営協力金合計金額 2,752,594 円）

（期間中のグッズ販売売上合計金額 1,052,990 円）

6/19～7/25 のボランティア数、延べ900人

皆様のご協力ありがとうございました。



まち協だより シリーズ 「ダンボールコンポストを追いかけて」



第1回ダンボールコンポスト講習会の受講者 大林 恵美子 さん（小田苅町）を訪ねてコンポストの様子をうかがいました。

恵美子さんは、実家の畑を何とかしたいと考え、早期退職し、滋賀県立農業大学の就農科に1年間通学したという経歴の持ち主です。現在は、ビニールハウスと畑で完全無農薬の野菜を栽培し、味咲館にも出荷しておられる元気な女性です。

Q ダンボールコンポストを始められた動機は？

A 今、使っている有機肥料が本当に良いのかと疑問に感じていました。自分で作る堆肥が一番安全ではないかと思っている時に、コンポストの募集があることを知り応募しました。

Q 苦労したことは？

A 初めてのコンポストであったことから、分からないことも有りましたが、交流会に参加して先輩にコンポストの中身を見ていただきました。その際、水分不足と言われ、とぎ汁等で水分の補給をおこない、何とかやりとげました。熟成も順調にいき、今はコンポスト2号をしています。

Q これから始める方にアドバイスはありますか？

A コンポストでできた堆肥をどのように使うか考えてから始めてみてはどうでしょうか。私は孫に安全、安心でおいしい野菜を食べさせたいという気持ちで始めました。

だれでも気軽にでき、経費もかからず、本当に良いとこだらけですよ！（Fukuda）



コンポストでできた堆肥を一握り混ざった土で成長したプチトマト





滋賀県商工会青年部連合会

「クリーンアップ全国大会」

～全国一斉クリーンアップ活動～

全国1747(滋賀県35)ある商工会は、「商工会法」に基づき設立された経済団体です。今年、「商工会法」施行50周年にあたり、地域に感謝の気持ちを伝えるために全国5万人の商工会青年部員が、同時刻に地域の清掃活動を開催するというイベントを実施しました。

東近江市湖東商工会青年部では、8月26日18:00に、ひばり公園に女性部員と共に集合し、コトナリ会場となった、ひばり公園を1時間ほど感謝の気持ちを込めて清掃活動を行いました。(yoshiki)



ハナノキが一大事!

7月4日夜に、南花沢町にある国の天然記念物「ハナノキ」の主幹(高さ約12メートル、幹周り約4メートル)が、倒壊していることがわかりました。樹齢400年ともいわれるハナノキの倒壊はとても残念なことです。

ただ、主幹とは別の枝は残っているとのこと。天然記念物指定は継続されるとのことです。そこで、今回は、ハナノキについて調べてみました。

大正10年に国の天然記念物に指定され、伝承も古くからあります。「聖徳太子が百済寺を建立した帰り道に、仏教が繁栄していくなら、この木も栄えて花をつけるであろうと誓い、昼食の箸を花沢村に一本ずつ突き刺したところ、誓いどおり立派な木になった」と、江戸時代半ばの1792年の書物に記され、地元でも言い伝えられています。

1200年前の太子の時代までさかのぼるかはともかく、江戸時代には名木として知られていたのです。

毎年、春になると桜に先がけて咲くハナノキ。主幹は倒れても、湖東の人々のあつし心に支えられ、これからも花を咲かせることでしょう。

(こじま) 「参考 読売新聞」



頑張っています キッズストリートダンス

キッズストリートダンスは、さざんか教室の1つで、NAOTO先生を講師に、現在21名の小学生が、ストリートダンスの基礎を学んでいる。

半年を1サークルとして、湖東公民館で練習をしており、地元の祭りなどで発表もしている。

「色々な場所に教えに行っていますが、この地区の子どもたちは、自分自身が踊りたいと思って参加しているので、教えやすいですね」と先生。

参加されている小学生に『教室はどうですか?』と質問してみると「今日で3回目だけど、毎回楽しいです」と、笑顔で話す。

また、見学のお母さんは「毎回、喜んで参加しています」と、みんな楽しくダンスの基礎を学んでいるようです。

「限られた期間(6ヶ月)ですが、ダンスの基礎に触れてもらって、この教室が終わった後も続けてもらいたいですね」とNAOTO先生。

この教室から未来のダンサーが生まれてくれたらいいですね(^-^v) 頑張れ、ちびっ子ダンサー! (piroko)



この人を紹介 黄地 久美子さん

スネイルスマイルの活動とは

黄地さんは、「東近江市手をつなぐ育成会」湖東支部代表になって5年。日夜、障がいを持つ子どもたちや、親たちのために頑張っているが、「スネイルスマイル」の活動もその一つです。

ネーミングの「スネイルスマイル」は、障がいを持っている人や、その親たちにとっては人生そのものが険しい道ですが、その道を前にしか進まず、剣の刃の上を平気で渡っていくカタツムリのように笑顔でいてほしいという意味があるそうです。

障がいがあるというのは、どうしようもない不安や、将来への悩みなど、一般の人たちにわからない心配ごとなどがあります。そういう思いをここへ来て話し、少しでも安心してもらえたらと活動をおこなっておられます。

「この活動を続けることによって、障がいを持った子どもも親も、すこしでも明るい明日を迎えてもらえるように頑張っていきたい。また、多くの人に障がいを持っている人の悩みのレベルや、悩みをわかってもらえたら・・・日々是好日」と、黄地さんは話されました。(太田)

<スネイルスマイルの活動>

毎月第3土曜日

午後2:00~午後4:00

場所:湖東公民館



ただいま 商い中！ 清水 洋子 さん & 浄意 (じょうい) さん (中里町)

今回は、「フローリスト花はづき」の 清水 洋子 さんと 息子の 浄意 さんを訪ねました。

店内に一步入ると、爽やかな香りを放つ、色あざやかな花たちや、丁寧にアレンジメントされた花たちが、私を迎えてくれました。

洋子さんは、「花はづき」は、今から6年前、花屋を営んでいた当時の店主から引き継ぐ形で始めました。最初は、手探りででの起業ということで大変苦労しましたが、一年半程前からは息子といっしょに楽しく続けています」と、笑顔で話されました。

洋子さんは、お花の先生(小原流)でもあることから、文化庁の(財)伝統文化活性化国民協会の事業で小学生を対象とした『東近江地区の伝統文化こどもいけばな教室』を毎月1回開催されています。この教室は、子どもたちに「いけばな」という日本の文化に直接触れてもらうことを目的におこなっており、「当初は生徒4人でのスタートでしたが、今では20人ほどになりました。」と、ボランティア活動にも熱心です。

この教室は、途中からの参加も可能で、問い合わせは「花はづき」までとのことです。

洋子さんは、「人と人のつながりが私を大きくしてくれたので、その恩返しをしていきたいです」と、これからの抱負を話されました。話も楽しく、とっても朗らかな洋子さんと笑顔が素敵な浄意さん。これからも頑張ってください！(Yoshiki)



フローリスト 花はづき

中里町 629-6

営業時間 9:00~18:00

電話番号 0749-45-0034

ホームページ <http://www.eflora.co.jp/shop/hanahaduki/>

メールアドレス hanahaduki@hera.eonet.ne.jp

ぐるっと友達の輪

太田 和志 (かずし) さん (僧坊町)、垣谷 未来 (みき) さん (大沢町)

沖縄インターハイ(高校総体)の柔道(団体戦)に出場した、近江高校3年生の太田 和志 さんと 垣谷 未来 さんをご紹介します。

二人は、小さな頃から湖東錬成館で柔道を学び、中学・高校と厳しい練習を続け、今回、沖縄県で開催されたインターハイに初出場しました。

『インターハイは、ベスト16という結果に終わりました。上位入賞という目標で試合に挑みましたが、全国で上位入賞することは難しいということを実感しました。これから大学に入学するまでに技術向上と体作りをおこない、大学では日本一を目指して頑張ります』と、太田さん。

また、垣谷さんは、『全国のレベルの高さが分かりました。高校生活最後の夏に近江高校柔道部員としてインターハイに出場できて良かったです。これからも柔道を通して学んだことを糧に頑張りたいです』と、感想を話されました。

太田さん、垣谷さん、次の目標に向かって頑張ってくださいね♪



試合開始前の 太田 和志 さん(右端)



試合に臨む 垣谷 未来 さん



<編集・発行> 湖東地区まちづくり協議会
(事務局)

〒527-0113 東近江市池庄町505番地
東近江市 湖東支所内

TEL 45-3702 FAX 45-1570 IP 050-5801-3702

<http://members.e-omi.ne.jp/suki-koto/>

広報部ブログ <http://machikyo-koto.jugem.jp/>

<<お便りはこちらまで>> suki-koto@e-omi.ne.jp

プレゼント!

今月は、「フローリスト花はづき」提供の
プリザーブドフラワーを2名の方にプレゼントします。
(デザインは変更されることがあります。)

ご希望の方は、下記の要領により応募してください。

<応募方法>

あなたの住所、氏名、電話番号を記入の上
事務局まで、はがき、メールまたはFaxで
お送り下さい。



締め切り: 10月12日(火) 必着